

大分県企業局

経営戦略アクションプラン

(令和8年度～令和9年度)



大分県企業局
豊かな水を活かし 地域を支える

令和8年3月

アクションプランは、大分県企業局経営戦略に掲げる「経営理念」を実現するための「3つの戦略の柱」ごとに、それぞれの施策の具体的な取組を明示した事業計画として作成しています。

これまでのアクションプランの計画期間は4年間でしたが、大分県企業局経営戦略の計画期間に合わせて計画期間を令和8～9年度の2年間としています。

経営理念

大分の豊かな水を活かし、地域を支える

大分県企業局は、豊かな水を活かしてクリーンな電力と低廉で質の高い工業用水を安定的に供給するとともに、上水道原水やかんがい用水を守り、また、多目的ダム管理などにより洪水防止や良質な河川環境を維持する役割を果たし、さらには県政貢献等により、県経済の振興や地域社会の発展にも寄与します。

県民から信頼される地方公営企業として、将来にわたり地域を支え、県民・地域とともに歩んでいきます。

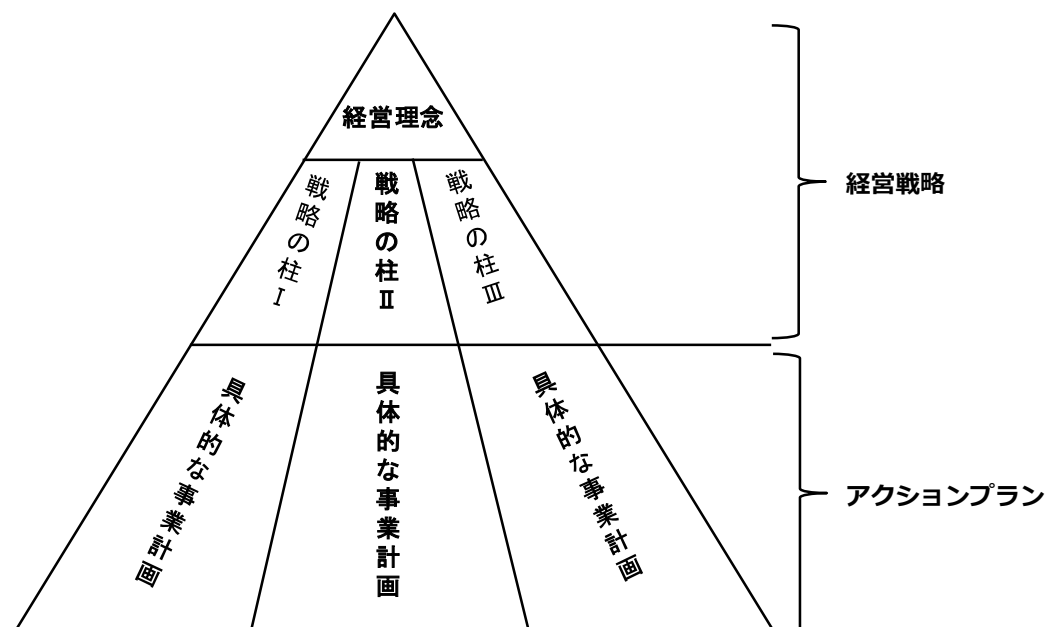
Road to Evolution ～進化のための10年間～

経営戦略期間（H30年度～R9年度）を『進化のための10年間』と位置づけ、電気事業及び工業用水道事業の今後50年間の安定経営のため、投資を加速します。

経営理念実現のための3つの柱

戦略の柱Ⅰ	効率的・効果的な経営の実現
戦略の柱Ⅱ	安定的なサービスの提供
戦略の柱Ⅲ	地域社会への貢献、県民福祉の向上

施策体系図



目 次

戦略の柱Ⅰ：効率的・効果的な経営の実現

1 共通事項

- (1) 環境変化に対応できる組織運営・人材育成 … 1
- (2) 先端技術の活用による業務の効率化・高度化 … 2
- (3) 新規事業を含む事業展開に向けた研究 … 3
- (4) コストダウン・業務改善に向けた取組 … 4

2 電気事業

- (1) 電力システム改革に的確に対応することによる健全経営の維持 … 5

3 工業用水道事業

- (1) 顧客本位の取組 … 6
- (2) 新規顧客への対応 … 7

戦略の柱Ⅱ：安定的なサービスの提供

1 共通事項

- (1) 耐震化・老朽化対策の推進による電力と工業用水の安定供給 … 8
- (2) 危機管理体制の充実 … 9
- (3) 感染症リスクへの対応 … 10

2 電気事業

- (1) 発電所リニューアルの推進 … 11
- (2) 自然災害対策の計画的な実施 … 12
- (3) 発電所のオーバーホール工事の実施 … 13
- (4) その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施 … 14

3 工業用水道事業

- (1) 給水ネットワークを用いた隧道点検及び補修 … 15
- (2) 自然災害対策の計画的な実施 … 16
- (3) 浄水場の老朽化対策、老朽化管路の更新 … 17
- (4) その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施 … 18

戦略の柱Ⅲ：地域社会への貢献、県民福祉の向上

1 共通事項

- (1) 地域貢献 … 19
- (2) 県政貢献 … 20
- (3) 効果的な広報の実施 … 21

投資・財政計画（2年間収支計画）

- 1 電気事業 … 22

- 2 工業用水道事業 … 26

- 参考 用語解説 … 30

戦略の柱 I : 効率的・効果的な経営の実現

1 共通事項

(1) 環境変化に対応できる組織運営・人材育成

計画の概要
 企業局人材育成基本方針などに沿い、技術専門研修（局内研修・派遣研修・資格取得研修・職場研修）などの充実を図ります。特に、企業局の業務運営に必要な資格（電気主任技術者等）の有資格者の確保に努めるとともに、OJTマニュアルを活用した現場での技術指導などを充実させていきます。
 また、技術職員を継続的に総務課へ配置し、企業局の経営や管理に精通した職員を育成するとともに、現場で勤務する保守担当職員に対しても企業局の経営状況や現下の経営環境について積極的に周知し、環境の変化に対応できる経営的視点を身に付けた職員の育成を図ります。
 あわせて、企業局の経営を支える技術職員を安定的に確保できるよう、知事部局と連携して人材確保に取り組みます。

具体的な取組内容
令和8年度～令和9年度

○人材育成

- ・ 職場（技術）研修の充実
 企業局職員が必要とする技術は、現場の作業を通じて習得することが基本であることから、技術修得の基本である職場（技術）研修を中心に研修を充実。定期停止作業やオーバーホールなどの現場の設備に直接触れることができる限られた機会を利用して、技術や知識の習得を図るとともに世代間の技術継承を促進
- ・ 民間機関等における研修への参加
 現場の実態を踏まえた実践的な研修を実施するため、特に派遣研修については、より実務的な研修となるよう派遣先を充実
- ・ 経営状況説明会等の開催
 現場で勤務することが多い技術職員にも経営的視点を身に付けてもらうため、予算・決算の状況や経営環境の変化などに関する説明会のほか、次期経営戦略策定に向けた意見交換会を開催
- ・ 企業局人材育成基本方針、企業局技術専門研修実施要領及び企業局技術専門研修ロードマップの見直し

○人材確保
 技術職員の確保に向け、採用方法の検討、大学等へのリクルート活動、SNS等を活用した広報活動、インターンシップを実施

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
経営状況説明会等の開催	回	2	2	3	3
リクルート活動	回	—	—	2	2
インターンシップの取組数	回	—	—	2	2

(2) 先端技術の活用による業務の効率化・高度化

計画の概要

業務の効率化・高度化を図るため、課題の洗い出しや先端技術の活用に向けて調査・検討を行います。

また、ドローンについては、企業局独自の操縦者認定制度に基づき、シミュレータによる操縦者の技術向上を図りながら、被災箇所など職員の立ち入りが困難な場所の状況確認を効果的に行うなど、業務への活用を進めていきます。

さらに、大分県職員デジタル行革行動指針などに沿い、ICT ツールを積極的に活用し、既存の方法に捉われることなく業務の見直しを進めます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

○先端技術の活用に向けての調査・検討

- ・スマート保安の導入
令和9年度：大野川発電所、芹川第一・第二発電所（リニューアル事業内において実施）
- ・ネットワークカメラの導入
令和8年度：花合野川発電所、阿蘇野川発電所
令和9年度：大野川発電所、芹川第一・第二発電所（リニューアル事業内において実施）

○ドローンの効果的な活用の推進

- ・ドローン管理運用要領に基づく操縦者育成（シミュレータの活用）
- ・災害時における被災箇所の状況確認
- ・工事状況やダム湖など、企業局設備及び周辺状況の確認
- ・水中ドローンを活用したダム湖や水路の点検など

○民間の技術やノウハウの活用の推進

- ・民間機関等での研修で習得した技術やノウハウを職員間で共有し、現場業務への導入を検討

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
スマート保安の導入	発電所	—	—	—	3
ネットワークカメラの導入	発電所	—	—	2	3



保守支援装置の導入



ドローン操縦訓練

(3) 新規事業を含む事業展開に向けた研究

計画の概要

グリーン社会の実現に向けて、非化石価値^{※1}の活用やRE100^{※2}化など、国や他県の動向を注視しながら取組を進め、実現性の高い再生可能エネルギーの導入拡大策についても調査していきます。

今後も、先進事例の調査研究などを行いながら、既存事業にとらわれない新たな事業展開についても研究を進めます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

○新規事業の可能性について研究

- ・国や関係団体が主催する会議等への参加による情報収集
- ・先進地視察の実施
- ・事業性検討会の実施及び経営会議への報告
- ・プロジェクトチームにおける事業化に向けた検討
(経営会議での結果を踏まえ必要に応じて実施)

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
事業性検討会の実施	回	2	2	2	2

(4) コストダウン・業務改善に向けた取組

計画の概要

工事などの生産性向上を念頭に、発注者・受注者双方の業務改善に取り組みます。

また、施設の老朽化に伴う維持管理費用の増大に対応するため、アセットマネジメントシステムを活用した計画的な維持管理を行い、コストダウンを図ります。

さらに、職員による業務改善のうち特に効果の高い取組を表彰し、好事例の普及や職員の改善意欲の向上を図ります。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

○工事等について、情報共有システムの導入促進

- ・受発注者間の協議資料などを電子化し、情報共有することにより受注者の移動時間短縮や発注者の迅速な指示を促進

○アセットマネジメントシステムの精度向上

- ・アセットマネジメントの診断表更新

○コストダウン推進委員会等による職員提案の刷新

- ・例年実施していたアイデアコンテストの実施方法を見直し、職員が実践した効果的な業務改善の取組を募集・表彰・周知

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
情報共有システムの導入率	%	25	30	50	60
アセットマネジメントの診断表更新回数	回	4	4	4	4
アイデアコンテストの開催	回	—	—	1	1

戦略の柱 I : 効率的・効果的な経営の実現

2 電気事業

(1) 電力システム改革に的確に対応することによる健全経営の維持

計画の概要

売電期間や要件について、国や他県の動向などを注視しながら、長期的な観点で経営に及ぼす影響を考慮し、慎重に検討していきます。
 安定した収益を確保できるよう、維持管理の効率化を図ります。
 施設の老朽化状況を踏まえ、固定価格買取制度 (FIT) ^{※3}などを活用したリニューアルを推進していきます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

- 次期売電入札期間や要件の検討
- 国や他県の動向なども踏まえた経営のあり方についての研究

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
経常利益率	%	—	—	6	6

戦略の柱 I : 効率的・効果的な経営の実現

3 工業用水道事業

(1) 顧客本位の取組

計画の概要
 定期的にユーザー懇談会や企業局施設の現地案内会を開催するとともに、工業用水の使用実態などを直接確認する機会も設けることで、顧客本位の取組を進めます。

具体的な取組内容
 令和8年度～令和9年度

- ユーザー懇談会の開催（年1回）
- 現地案内会の開催（年1回）
- ユーザー訪問の実施

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
ユーザー懇談会開催回数	回	1	1	1	1
現地案内開催回数	回	1	1	1	1
ユーザー訪問数	事業所	2 2	2 2	2 2	2 2



(ユーザー懇談会)



(現地案内会)

(2) 新規顧客への対応

計画の概要

既存ユーザーとの情報交換などで常に使用実態やニーズを把握しながら、本県の工業用水の3つの優位性（①水量が豊富な大野川から表流水を取水しているため、渇水による給水制限をしたことがないこと。②全国的にも安価な価格。③給水ネットワークの運用により災害時などにおける断水リスクを大幅に軽減できること。）を活かし、商工観光労働部など関係機関と連携して取り組んでいきます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

○新規顧客への対応

- ・ 既存ユーザーの使用実態やニーズの把握
- ・ 商工観光労働部等との企業情勢などに関する情報交換
- ・ 新規給水に関する問い合わせ対応、協議など

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
商工観光労働部との情報交換	回	—	—	1	1

戦略の柱Ⅱ：安定的なサービスの提供

1 共通事項

（1）耐震化・老朽化対策の推進による電力と工業用水の安定供給

計画の概要

施設などの耐震化・老朽化対策を計画的に実施し、電力と工業用水の安定供給に努めます。

再生可能エネルギーの導入拡大にもつなげる発電所リニューアル事業や給水ネットワークを活用した工業用水隧道の本格的な点検及び補修による災害に強い給水体制の構築など、電気事業及び工業用水道事業の今後50年間の安定経営のため、積極的な投資を行います。

具体的な取組内容

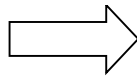
令和8年度～令和9年度

戦略の柱Ⅱ電気事業1、2、工業用水道事業1、2、3の評価結果をもとに総合評価

○電気事業：発電所リニューアル事業の推進



【リニューアル前の芹川第一発電所】



【現在リニューアル工事中の芹川第一発電所】

○工業用水道事業：給水ネットワークを活用した隧道点検



（工業用水隧道の点検）

（２）危機管理体制の充実

計画の概要

近年頻発する豪雨災害や今後発生が予想される南海トラフ地震などの巨大地震に備え、自然災害発生時に職員が迅速かつ的確に対応できるよう防災訓練などを通じて危機管理体制の充実を図ります。

具体的な取組内容

令和８年度～令和９年度

○防災実動訓練【全職員】

本局及び総合管理センターの全職員が参加し、地震などによる被害を想定したシミュレーション訓練の実施

○ダム管理演習【ダム管理部】

出水期前に土木建築部と合同で、ダムの計画規模を越える異常降水などを想定した訓練の実施

○現場対応訓練【総合管理センター各部】

出水期の豪雨災害や油流出事故などを想定した訓練の実施

○工業用水ユーザー企業との情報伝達訓練【工務課】

豪雨災害などに伴う給水制限を想定して、ユーザー企業と合同で実施

○九州地域工業用水道相互応援協定に基づく情報伝達訓練【工務課】

平成２７年度に締結した相互応援協定に基づき、協定事業者と合同で、地震などの大規模災害時における応援活動を迅速に行うための情報伝達訓練の実施

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
防災実動訓練	回	1	1	1	1
ダム管理演習	回	1	1	1	1
現場対応訓練	回	1	1	1	1
工水ユーザー企業との情報伝達訓練	回	1	1	1	1
相互応援協定に基づく情報伝達訓練	回	1	1	1	1

（3）感染症リスクへの対応

計画の概要

様々な感染症リスクに備え、電気や工業用水を安定供給できるよう職員への感染拡大防止対策の徹底や業務体制の確保を図っていきます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

○職員への感染拡大防止対策の徹底

- ・ 掲示板や経営会議等を活用した基本的な感染対策の職員への周知徹底
- ・ 監視業務に従事する総合制御部職員の感染を防止するため、必要に応じて外部からの出入りを制限するほか、当直職員12名とその他の職員の執務環境を分離
- ・ 感染拡大防止のため、必要な備蓄品確保の計画的な推進

○業務体制の確保

- ・ 監視業務に従事する当直職員の確保を最優先とするため、「大分県企業局の新型インフルエンザ等対策等に関する行動計画」で定める優先業務及び優先業務遂行に必要な職員数について見直しを行うとともに、万一に備え応援体制を整備

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
インフルエンザワクチンの集団接種の実施	回	—	—	1	1

戦略の柱Ⅱ：安定的なサービスの提供

2 電気事業

（1）発電所リニューアルの推進（再生可能エネルギーの導入拡大）

計画の概要

令和10年度に芹川第一発電所及び芹川第二発電所、令和11年度に桑原発電所の営業運転開始を目指します。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
(1) 芹川第一発電所	・水圧管路他土木建築工事 ・水車発電機他更新工事	・水圧管路他土木建築工事 ・水車発電機他更新工事	・水車発電機他更新工事 ・水圧管路他土木建築工事	・水車発電機他更新工事 ・水圧管路他土木建築工事
(2) 芹川第二発電所	・水圧管路他土木建築工事 ・水車発電機他更新工事	・水圧管路他土木建築工事 ・水車発電機他更新工事	・水車発電機他更新工事 ・水圧管路他土木建築工事	・水車発電機他更新工事 ・水圧管路他土木建築工事
(3) 桑原発電所	・水車発電機他更新工事	・水車発電機他更新工事 ・工事用道路等準備工事	・水車発電機他更新工事 ・水圧管路他土木建築工事 ・工事用道路等準備工事	・水車発電機他更新工事 ・水圧管路他土木建築工事

事業費総額（概算・税抜き）

芹川第一発電所 : 100億円（R1～11）※残工事を含む
 芹川第二発電所 : 70億円（R1～10）
 桑原発電所 : 50億円（R4～11）

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
(1) 芹川第一発電所 事業進捗率	%	20	30	50	70
(2) 芹川第二発電所 事業進捗率	%	20	40	50	80
(3) 桑原発電所 事業進捗率	%	4	7	10	24

（２） 自然災害対策の計画的な実施

計画の概要

①地震対策

既存施設について、大分県地域強靱化計画や発電所リニューアル事業などを考慮して耐震照査及び耐震化工事を計画的に進めていきます。

②風水害対策

ダムについては、情報通信などの監視機能や治水機能の強化を進めていきます。特に、水害の危険性が高い取水堰や導水路などについて、補修補強工事を進めていきます。

具体的な取組内容

令和８年度～令和９年度

	令和８・９年度
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芹川第一発電所水圧管路耐震補強工事（R5～9 債務負担） ・ 芹川第二発電所水圧管路耐震補強工事（R4～9 債務負担） ・ 芹川第二発電所建屋耐震補強工事（R4～9 債務負担）

※芹川第一・第二発電所リニューアル事業内において実施

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
既存施設（建物・水管橋）の耐震化率	%	95	95	95	100
既存施設（水路工作物）の耐震照査率	%	95	95	95	95
既存施設（水路工作物）の耐震化率	%	—	—	54	59

※ 既存施設（水路工作物）の耐震照査の結果、追加対策が必要になったものについて、新たな指標「耐震化率」により取組を進める



（芹川第二発電所 水圧管路）



（芹川第二発電所 建屋）

（3） 発電所のオーバーホール工事の実施

計画の概要

10年から15年に1回の周期で水車発電機を分解し、消耗、劣化した部品の取替を行うオーバーホール工事^{*4}に合わせ、機器類の精密な計測を行い、次回オーバーホールまでの長期間の運転に備えます。

また、水車発電機以外の設備で、更新・修繕に長期間の発電停止が必要なものについても、オーバーホールにあわせて集中的に更新・修繕を行うことで、発電機停止に伴う停電電力量を削減します。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

	令和8年度
オーバーホール工事	・ 芹川第三発電所水車発電機（R8～10 債務負担）

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
オーバーホール工事実施件数	件	－	－	1	－



（オーバーホール工事）

（４） その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施

計画の概要

施設整備実施計画に基づき、各施設の経年劣化に対応した適切な修繕・改良工事を実施します。
 また、日常の保守点検に万全を期し、故障による発電停止を未然に防ぐとともに、効率的に保守作業を実施して、作業による停電電力量の削減に努めます。

具体的な取組内容

令和８年度～令和９年度

	令和８年度	令和９年度
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大野川大南線鉄塔補修（No.62～70）工事 ・芹川第三発電所共同井路蓋かけ工事 ・今畑ポンプ場No.2，No.3ポンプオーバーホール工事（R8～9 債務負担） 	<ul style="list-style-type: none"> ・大野川大南線鉄塔補修（No.3～6）工事 ・芹川第三発電所共同井路蓋かけ工事 ・別府発電所小挾間取水堰床固工事

２年間の事業費総額（概算・税抜き）

128,312千円

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
鉄塔改良・保全工事及び監視制御機器更新実施件数	件	4	2	1	1
主要水路工作物修繕・改良工事実施件数	件	1	4	2	2
故障・作業停電電力量削減率※	%	—	—	2	4

※R8・9の目標値は、停電電力量過去10年平均（H23～R2）3,744MWhとの比較 今回の過去10年平均は、芹川水系、下赤、桑原を除外し、変更されているため R8の目標値は初期値となるが、年間削減率2%は継続する。

戦略の柱Ⅱ：安定的なサービスの提供

3 工業用水道事業

(1) 給水ネットワークを用いた隧道点検及び補修

計画の概要
 これまで断水することができなかった隧道について、給水ネットワークを活用しながら、定期的な点検により損傷の進行度を把握し、緊急性があれば補修を実施します。また、給水ネットワークによる配水切替の技術向上も図ります。

具体的な取組内容
 令和8年度～令和9年度

	令和8年度	令和9年度
点検箇所	送水隧道 判田・小池原線	揚水隧道

2年間の事業費総額（概算・税抜き）
 57,825千円

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
隧道点検実施箇所	箇所	0	0	1	1



（２） 自然災害対策の計画的な実施

計画の概要

①地震・津波対策

平成23年度の「給水ネットワーク事業地震・津波対策評価検討委員会」からの提言を受け作成した耐震化ロードマップに基づき、重要な構築物などの耐震化を計画的に進めます。

②濁水・取水対策

豪雨時に河川水の濁度が上昇した場合でも、適切に処理を行うことができるよう、さらなる濁水対策の研究を続けます。

また、取水口の塵芥対策として、ウインチやレーキなどを使用した現地研修に継続的に取り組むことにより、除塵作業の技術向上と作業時の安全性の確保に努めます。

あわせて、監視体制の強化やユーザー企業への情報提供の迅速化にも取り組みます。

③浸水対策

大分市の洪水ハザードマップの浸水区域となっている判田取水場及び大津留浄水場については、浸水を想定した対策を進めていきます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

	令和8年度	令和9年度
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小池原接合井耐震化工事（R8～9 債務負担） ・判田・大津留浄水場 PAC 貯槽設備改良工事（R8～9 債務負担） 	<ul style="list-style-type: none"> ・志村接合井耐震化工事（R9～10 債務負担）

2年間の事業費総額（概算・税抜き）

376,347千円

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
既存施設の耐震化率	%	76	76	78	79
ユーザー要求量に対する給水率	%	100	100	100	100
給水条例基準濁度での供給	%	100	100	100	100

（３） 浄水場の老朽化対策、老朽化管路の更新

計画の概要

判田浄水場、大津留浄水場施設は古いもので設置から50年以上が経過しているため、計画的に補修工事を行います。特に大津留浄水場については、施設の老朽化が進んでいるため更新のあり方について早急に検討し、準備を進めていきます。

また、管路については損傷調査を行い、計画的に補修・更新を進めていきます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

	令和8年度	令和9年度
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・萩原水管橋塗装工事 (R8～9 債務負担) ・関門水管橋塗装工事 (R8～9 債務負担) ・丹生川水管橋塗装工事 (R8～9 債務負担) ・判田1・2号線埋設管路補修工事 (R8～9 債務負担) ・大津留1・2号線修正設計委託 ・左岸系水管橋点検業務委託 ・大津留浄水場老朽化対策事業 (R8～9 債務負担) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気防食装置点検業務委託 ・池の上松岡線埋設管路補修設計委託 ・志村須賀細線埋設管路損傷調査委託 ・屋山支線埋設管路損傷調査委託 ・大野川鶴崎水管橋点検業務委託 ・大野川松岡水管橋塗装工事 (R9～10 債務負担) ・判田沈殿池外補修工事

2年間の事業費総額（概算・税抜き）

1,251,019千円

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
埋設管路調査（2巡目）	%	—	—	—	30
主要施設の修繕・改良工事（委託）実施件数	件	5	1	7	7

（４） その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施

計画の概要

浄水場を運用するための制御・計装設備などの経年劣化に対応した修繕・更新を計画的に行います。

また、安定した水質の供給に欠かせない水質計器についても20年以上経過しているため、更新工事を実施します。

なお、設備の更新に当たっては、省エネルギー機器を積極的に導入するとともに、再エネ賦課金減免制度^{※5}の活用などでトータルコストの削減に取り組みます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

	令和8年度	令和9年度
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水質計器更新工事 ・監視制御装置機能増設 (R8～9 債務負担) ・大津留沈殿池 INV 盤更新工事 (R8～9 債務負担) ・省エネ機器の導入 (4 箇所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・場外通信設備 IP 化工事 (R9～10 債務負担) ・計装設備更新工事 (R9～10 債務負担) ・省エネ機器の導入 (1 箇所)

2年間の事業費総額（概算・税抜き）

471,500千円

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
主要設備更新工事実施件数	件	—	2	3	2
省エネ機器導入箇所	箇所	—	—	4	1

戦略の柱Ⅲ：地域社会への貢献、県民福祉の向上

1 共通事項

(1) 地域貢献

計画の概要

上水道原水やかんがい用水を安定的に供給することで、住民生活の安定や地域農業の振興に寄与します。また、2つの多目的ダム（芹川、北川）の管理などを行うことで、台風や豪雨による被害から下流域を守り、良質な河川環境を維持するとともに、環境保護活動やダム流域の交流事業への助成など地域貢献活動を継続します。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

- ダム流域団体との交流事業
- 環境保全活動などへの助成
- 上水道原水及び農業用水の安定的確保
- 芹川ダムアオコ対策（芹川ダム環境調査委託）

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
交流事業の回数	回	5	5	5	5
環境保全活動等への助成	団体	8	8	8	8



北川マイストーン作戦



芹川ダム湖清掃ボランティア

（２） 県政貢献

計画の概要

利益の一部を一般会計へ繰り出し、県の重要施策の推進を支援することで、県政の発展に貢献します。

計画期間において電気事業では、発電所リニューアルに伴う発電所停止による収入の減があり、収支状況は厳しくなりますが、効率的・効果的な経営に努めながら、継続的に一般会計への繰り出しを行います。

具体的な取組内容

令和８年度～令和９年度

○一般会計への繰り出し

目標指標

指 標 名	単 位	目 標 値			
		R 6	R 7	R 8	R 9
一般会計への繰出金	百万円	－	－	7 0	7 0

（3）効果的な広報の実施

計画の概要

HPやSNSなどを活用した効果的な情報発信を行うとともに、幅広い世代を対象とした施設見学の積極的な受入れを行うことで、県民生活に身近な存在として認知してもらえよう努めます。

具体的な取組内容

令和8年度～令和9年度

○施設見学の実施

- ・親子、学生、地元住民など幅広い世代を対象とした見学会を実施

○HP、SNS、ラジオ及び新聞等を活用した情報発信

- ・企業局HPでの施設及び業務紹介
- ・X、Instagramにて企業局の日常を配信

○企業局ロゴマークを活用したPR

- ・大分県立美術館で開催されるイベントなどのポスターへの掲載
- ・封筒や名刺、印刷物などへの活用

目標指標

指標名	単位	目標値			
		R6	R7	R8	R9
施設見学の受入回数	回	10	10	10	10



（企業局施設見学イベント）



（判田浄水場見学）

投資・財政計画（2年間収支計画）

1 電気事業

①収益的収支

収益的収入については、固定価格買取制度（F I T）の認定を受けている大野川発電所、別府発電所、松岡太陽光発電所は、その売電単価を適用しています。また、令和8・9年度のその他の発電所の電気料金（卸供給分）は、入札による予定単価を適用しています。なお、各年度に予定されている工事等による長期停止及び維持流量放流による減電を考慮しています。

収益的支出については、特別損失として発電所リニューアル及び送電線撤去に係る固定資産除却費を計上しています。修繕費、委託費等は「施設整備実施計画」に基づく予定額を計上しています。

純利益について、令和8・9年度は、芹川第一・第二発電所リニューアル事業に加え、桑原発電所リニューアル事業による発電所の停止に伴い、電力収入が減少し、収支が厳しくなることが見込まれます。併せて、発電所リニューアル及び送電線撤去の除却費による特別損失が増加することから、一時的に純損失となる見込みです。

②資本的収支

資本的収入については、芹川第一・第二発電所リニューアル事業及び桑原発電所リニューアル事業に係る建設改良費に対応するための企業債を計上しています。（実際の借入割合については、金利の推移を注視しながら検討します。）

資本的支出については、発電所リニューアル事業等の実施計画に基づく予定額を計上しています。収支差額は積立金や損益勘定留保資金を充てることにより対応します。

※推計の考え方

- ・令和6年度は決算、令和7年度は当初予算、令和8、9年度は当初予算見込みを計上。
- ・総収益および総費用については、上記のとおり。
- ・その他費用に含まれる消耗品費や雑費など年度ごとの変動が少ない費用は、令和7年度当初予算の額を計上。（損益収支見込みには、予備費等を含めない）

2カ年の経営見通し（電気事業会計）

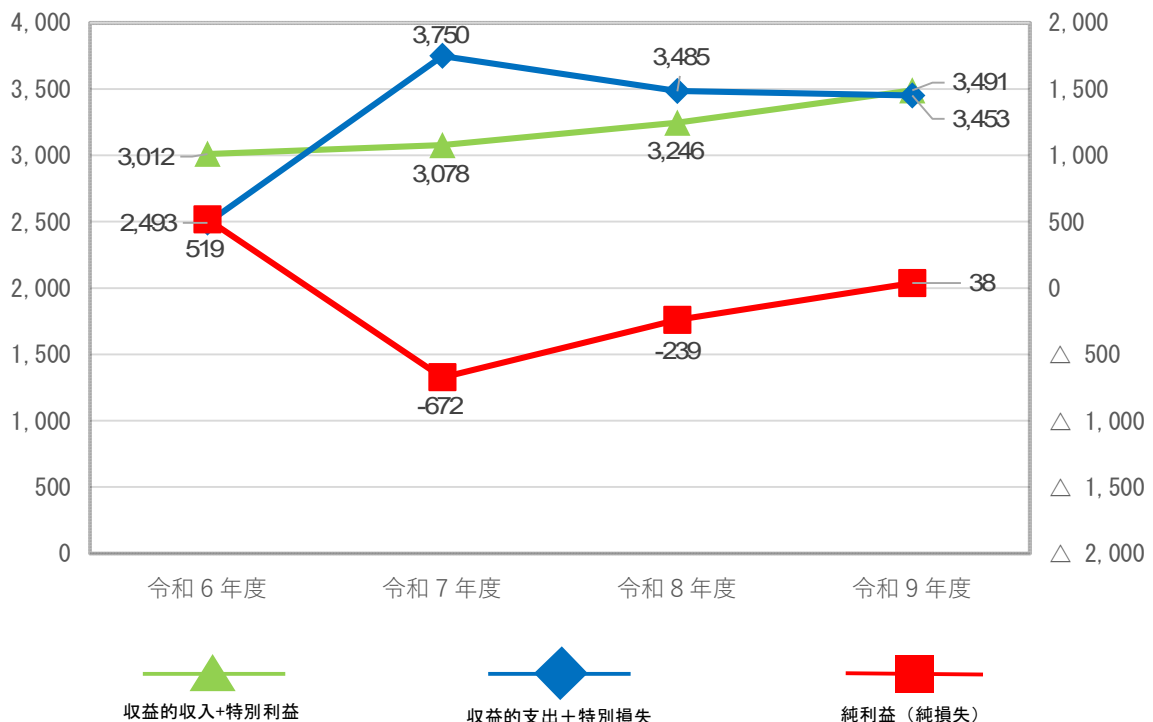
（収益的収支）

（単位：百万円）

	令和6年度 （参考）	令和7年度 （参考）	令和8年度	令和9年度
収益的収入	3,012	3,078	3,246	3,205
収益的支出	2,460	2,851	3,018	2,963
営業費用	2,390	2,781	2,951	2,898
職員給与費	641	738	869	839
修繕費	456	406	578	573
委託費	204	325	285	226
減価償却費	698	763	752	803
その他費用	391	549	467	457
財務費用	54	50	47	44
事業外費用	16	10	10	11
予備費	0	10	10	10
経常利益	552	227	228	242
特別利益	0	0	0	286
特別損失	33	899	467	490
純利益（純損失）	519	△ 672	△ 239	38

収益的収入+特別利益
収益的支出+特別損失
（百万円）

純利益（純損失）
（百万円）



(資本的収支)

(単位：百万円)

	令和6年度 (参考)	令和7年度 (参考)	令和8年度	令和9年度
資本的収入	1,558	2,833	3,077	7,502
企業債	1,432	2,737	3,022	7,451
負担金	113	95	54	50
固定資産売却代金	12	0	0	0
投資償還金	1	1	1	1
資本的支出	2,681	4,418	4,683	9,968
建設改良費	1,933	3,682	4,146	9,431
企業債償還金	496	454	454	454
その他	252	282	83	83
収支差額	△ 1,123	△ 1,585	△ 1,606	△ 2,466
補てん財源（損益勘定留保資金等）	1,123	1,585	1,606	2,466

(貸借対照表)

	令和6年度 (参考)	令和7年度 (参考)	令和8年度	令和9年度
資 産	32,316	34,340	36,869	45,031
固定資産				
事業分	21,158	23,667	26,557	34,292
事業外分	73	73	73	73
投資その他の資産	3,829	4,030	4,032	4,035
(小計)	25,060	27,770	30,662	38,400
流動資産	7,256	6,570	6,207	6,631
負 債 + 資 本	32,316	34,340	36,869	45,031
負 債	14,366	17,132	19,970	28,164
固定負債				
企業債	10,527	12,811	15,379	21,552
退職給付引当金	527	605	616	650
修繕引当金	1,753	1,843	1,982	1,837
(小計)	12,807	15,259	17,977	24,039
流動負債				
企業債	454	454	454	1,278
賞与・法定福利費引当金	40	47	45	45
その他流動負債	930	1,244	1,373	2,688
(小計)	1,424	1,745	1,872	4,011
繰延収益	135	128	121	114
資 本	17,950	17,208	16,899	16,867
資本金	14,705	14,705	14,705	14,705
剰余金	3,245	2,503	2,194	2,162

主要工事等一覧

電気事業

項 目		令和 8 年度	令和 9 年度	
戦略の柱Ⅱ「安定的なサービスの提供」	発電所リニューアルの推進	芹川第一発電所	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機他更新工事 (R2～R9債務) 水圧管路他土木建築工事 (R5～R11債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機他更新工事 (R2～R9債務) 水圧管路他土木建築工事 (R5～R11債務)
		芹川第二発電所	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機他更新工事 (R2～R10債務) 水圧管路他土木建築工事 (R4～R10債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機他更新工事 (R2～R10債務) 水圧管路他土木建築工事 (R4～R10債務)
		桑原発電所	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機他更新工事 (R5～R11債務) 水圧管路他土木建築工事 (R8～R11債務) 工事用道路等準備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 水車発電機他更新工事 (R5～R11債務) 水圧管路他土木建築工事 (R8～R11債務)
	発電所のオーバーホール工事の実施	芹川第三発電所	<ul style="list-style-type: none"> 芹川第三発電所 水車発電機 (R8～R10債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 芹川第三発電所 水車発電機 (R8～R10債務)
	その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施	送電線鉄塔改良工事	<ul style="list-style-type: none"> 大野川大南線鉄塔補修 (No.62～70) 工事 芹川送電線鉄塔改良 (第一工区) 工事 (R7～R8債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 大野川大南線鉄塔補修 (No.3～6) 工事
その他		<ul style="list-style-type: none"> 芹川第三発電所共同井路 蓋かけ工事 (R8単) 今畑ポンプ場No.1、No.4 ポンプオーバーホール 工事 (R7～R8債務) 今畑ポンプ場No.2、No.3 ポンプオーバーホール 工事 (R8～R9債務) 発電所集中監視制御機器 更新工事 (R6～R11債務) 芹川第三発電所 長湯取水堰起伏ゲート他 修繕工事 (R7～R8債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 芹川第三発電所共同井路 蓋かけ工事 (R9単) 別府発電所 小挾間取水堰床固工事 今畑ポンプ場No.2、No.3 ポンプオーバーホール 工事 (R8～R9債務) 発電所集中監視制御機器 更新工事 (R6～R11債務) 	

投資・財政計画（2年間収支計画）

2 工業用水道事業

①収益的収支

収益的収入については、責任水量制による安定した料金収入により年間約22億円を見込んでいます。

収益的支出については、平成28年度に完成した給水ネットワークを用いた隧道点検や、判田川の水管橋塗装工事実施等により、毎年約27億円から28億円程度の支出を予定しています。

純利益について、令和8・9年度は、隧道点検に伴う委託料、動力費の費用増等により、純損失となる見込みです。

②資本的収支

資本的収入については、老朽化の進んだ特高変電所高圧盤や脱水機等の更新に係る建設改良費に対応するための企業債を計上しています。

資本的支出については、上記の重要な機械設備の更新等にあって最大で49億円程度の建設改良費を計上しています。収支差額は損益勘定留保資金等を充てることにより対応します。

※推計の考え方

- ・令和6年度は決算、令和7年度は当初予算、令和8、9年度は当初予算見込みを計上。
- ・また、令和7年度以降の総収益のうち、給水収益は令和7年4月時点の料金単価・契約水量に基づく算定額を計上。
- ・総費用のうち、修繕費など毎年度の実施計画に基づき生じる経費は、各年度の予定額を計上。
- ・その他費用に含まれる消耗品費や雑費など年度ごとの変動が少ない費用は、令和7年度当初予算の額を計上。

2 力年の経営見通し（工業用水道事業会計）

（収益的収支）

（単位：百万円）

	令和6年度 （参考）	令和7年度 （参考）	令和8年度	令和9年度
収益的収入	2,299	2,261	2,282	2,270
収益的支出	1,843	2,243	2,755	2,819
営業費用	1,832	2,177	2,677	2,699
職員給与費	410	450	548	506
修繕費	111	187	333	301
委託費	120	169	229	267
減価償却費	706	783	812	922
その他費用	485	588	755	703
営業外費用	11	11	23	65
予備費	0	55	55	55
経常利益	456	18	△ 473	△ 549
特別損失	17	0	182	150
純利益（純損失）	439	18	△ 655	△ 699

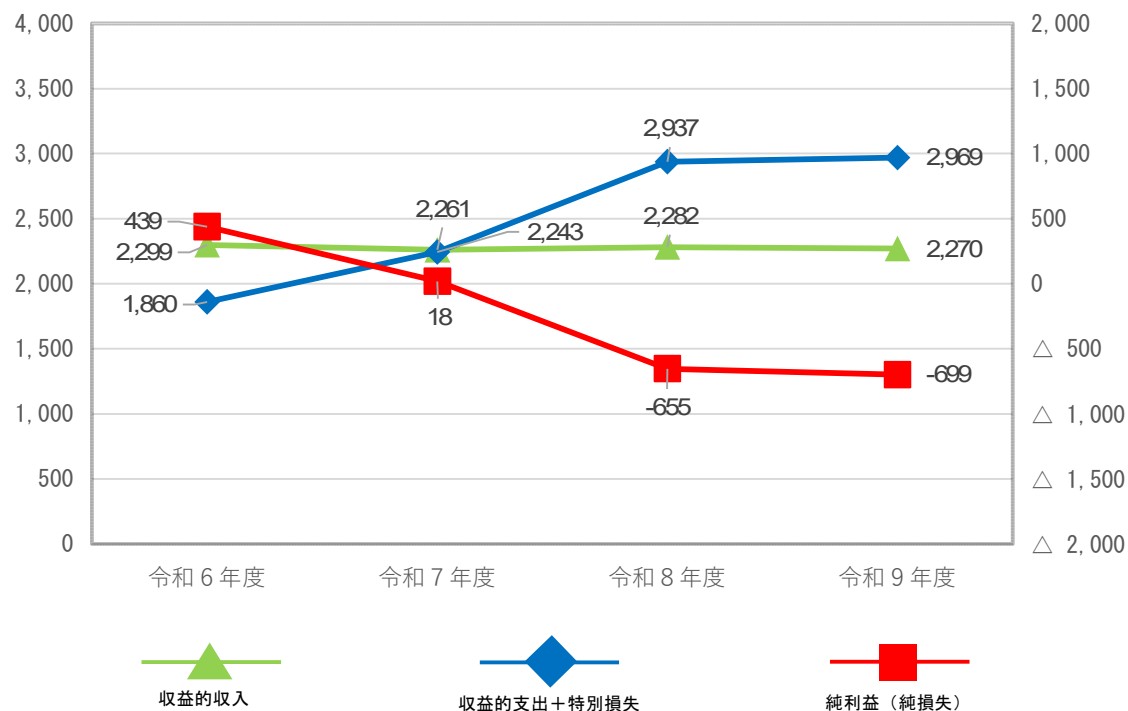
収益的収入

収益的支出＋特別損失

（百万円）

純利益（純損失）

（百万円）



(資本的収支)

(単位：百万円)

	令和6年度 (参考)	令和7年度 (参考)	令和8年度	令和9年度
資本的収入	7	839	1,769	4,380
企業債	0	815	1,480	3,809
補助金	0	0	4	0
負担金	7	24	285	571
投資償還金	0	0	0	0
資本的支出	1,778	898	1,922	4,955
建設改良費	1,694	826	1,859	4,843
企業債償還金	84	62	53	102
その他	0	10	10	10
収支差額	△ 1,771	△ 59	△ 153	△ 575
補てん財源 (損益勘定留保資金等)	1,771	59	153	575

(貸借対照表)

	令和6年度 (参考)	令和7年度 (参考)	令和8年度	令和9年度
資 産	25,498	25,518	26,848	30,756
固定資産				
事業分	14,452	14,406	14,944	17,899
投資その他の資産	3,906	3,906	3,906	3,906
(小計)	18,358	18,312	18,850	21,805
流動資産	7,140	7,206	7,998	8,951
負 債 + 資 本	25,498	25,518	26,848	30,756
負 債	5,515	5,518	7,503	12,111
固定負債				
企業債	99	878	2,256	5,824
退職給付引当金	363	401	459	489
修繕引当金	941	809	784	720
(小計)	1,403	2,088	3,499	7,033
流動負債				
企業債	62	36	85	224
賞与・法定福利費引当金	25	25	25	25
その他流動負債	1,500	980	1,610	2,677
(小計)	1,587	1,041	1,720	2,926
繰延収益	2,525	2,389	2,284	2,152
資 本	19,983	20,000	19,345	18,645
資本金	15,705	15,705	15,705	15,705
剰余金	4,278	4,295	3,640	2,940

主要工事等一覧

工業用水道事業

項 目		令和 8 年度	令和 9 年度	
戦略の柱Ⅱ「安定的なサービスの提供」	給水ネットワークを用いた隧道点検・補修	隧道点検	<ul style="list-style-type: none"> 送水隧道点検業務委託 (判田・小池原線) 	<ul style="list-style-type: none"> 揚水隧道点検業務委託 (揚水隧道)
	自然災害対策の計画的な実施	地震・津波対策	<ul style="list-style-type: none"> 小池原接合井耐震化工事 (R8～R9債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 小池原接合井耐震化工事 (R8～R9債務) 志村接合井耐震化工事 (R9～R10債務)
		濁水・取水対策	<ul style="list-style-type: none"> PAC貯槽設備改良工事 (R8～R9債務) 	<ul style="list-style-type: none"> PAC貯槽設備改良工事 (R8～R9債務)
	浄水場の老朽化対策、老朽化管路の更新	老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> 大津留浄水場老朽化対策事業 (R8～R9債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 大津留浄水場老朽化対策事業 (R8～R9債務) 判田沈殿池外補修工事
		老朽化管路の更新	<ul style="list-style-type: none"> 判田 1・2号線埋設管路補修工事 (R8～R9債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 判田 1・2号線埋設管路補修工事 (R8～R9債務) 池の上松岡線埋設管路補修設計委託
	その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施	経年劣化設備の修繕・更新	<ul style="list-style-type: none"> 水質計器更新工事 監視制御装置機能増設 (R8～R9債務) 大津留沈殿池INV盤更新工事 (R8～R9債務) 判田浄水場脱水機更新工事 (R5～R9債務) 判田取水場特高変電所高圧盤更新工事 (R7～R9債務) 判田取水場揚水ポンプ盤更新工事 (R7～R9債務) 	<ul style="list-style-type: none"> 場外通信設備IP化工事 (R9～R10債務) 計装設備更新工事 (R9～R10債務) 監視制御装置機能増設 (R8～R9債務) 大津留沈殿池INV盤更新工事 (R8～R9債務) 判田浄水場脱水機更新工事 (R5～R9債務) 判田取水場特高変電所高圧盤更新工事 (R7～R9債務) 判田取水場揚水ポンプ盤更新工事 (R7～R9債務)

〈参考〉用語解説

※1「非化石価値」(P3)

電気の持つ「環境価値」の一種で、太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどの再生可能エネルギーや原子力発電などの非化石電源からつくられた電気であるという価値。

※2「RE100」(P3)

企業が自らの事業活動に使用する電力を、風力、水力、太陽光など100%再生可能エネルギーにより調達し、温室効果ガスの削減を目指す国際的な取り組み。

※3「固定価格買取制度(FIT)」(P5)

再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力など)で発電された電力を、地域の電力会社が、国が定める価格で一定の期間買い取ることを義務づける制度。電力会社が買い取るための費用は、すべての電気利用者が賦課金という形で電気料金とともに負担し、制度を支えている。平成24年7月1日から開始。

※4「オーバーホール工事」(P13)

10年から15年に1回の周期で水車発電機などの分解、点検、補修を実施する。

※5「最エネ賦課金減免制度」(P18)

事業者の国際競争力の維持・強化の観点から、電力多消費事業者については、申請が認定されたもの(毎年度国の認定が必要)に限り、再エネ賦課金が減免される制度。



大分県企業局

「水の象形」「大分の豊かな水」をモチーフに、流れる水と波紋をイメージさせる造形をシンボルとしました。中心から外へ広がる波紋は企業局の「地域社会への貢献」を、絶え間なく続く水の流れは、「安定経営」「柔軟性」「発展」を意味します。

グラデーションの青は「豊かな水資源の活用」と「地方公営企業としての透明さ・誠実さ」を、黄色は「クリーンな電力の提供」と「さらなるチャレンジ精神」を意味しています。

大分県企業局 経営戦略アクションプラン(R8年度～R9年度)

大分県企業局 総務課 経営企画班

〒870-8501 大分市大手町3-1-1

(電話) 097-534-1005

(FAX) 097-532-5523

(E-mail) a70300@pref.oita.lg.jp

